

い・わ・せ・て かわら版

児童館は誰のため？

練馬区議会第二回定例会が6月29日まで行われま
した。私にとっては初めての議会、毎日が怒涛のように
過ぎていく勉強の日々でした。

区議会では最初に常任委員会と、特別委員会のそれ
ぞれに所属します。常任委員会には希望していた子育
てや教育に関する「文教児童青少年委員会」、特別委員
会は「総合・災害対策等特別委員会」に決まりました。

今回の文教児童青少年委員会で大きな議論となった
のは①平和台図書館での指定管理者の導入②平和台
と東大泉の児童館・学童クラブの指定管理者の導入
③これまでの学童クラブとひろば事業を同じ運営とす
るなりっこクラブの導入でした。

三つの議論の中心となったのは、行政が行うサービ
スとどこまで民営化・委託化するのかということでした。

練馬区ではコストに削減を目的に近年、民営化・委託
化を進めています。それによって行政が果たすべき最
低限の機能を維持できなくなってしまうたら、本末転倒
です。そのような視点から、私たちは福祉や保育の観点
から拙速に民営化を進めようとする区の方針に反対の
立場で戦いました。



市民の声ねりま
練馬区議会議員

岩瀬たけし

【プロフィール】
1977年生まれ。早稲田大学法学部卒業
早大大学院経営学修士号(MBA)取得。
三井化学(株)勤務後、国際協力機構
(JICA)等の専門家として、全世界20カ
国以上での地域開発事業に従事。妻、
一歳の息子、義母と大泉学園町在住。
市民の声ねりま副代表(大泉地域北部担当)
第18期 練馬区議会議員に2968票で当選

〒練馬区大泉学園町1-30-3
Tel:03-4291-6378
Fax:03-4283-4596
IwaseteNerima@gmail.com
発行責任者：岩瀬剛史

児童館は、乳幼児から18歳までの子ども達が自
由に集まることのできる場所であり、児童福祉法
に基づき、福祉のための施設です。例えば、最後に
家で食事を摂ったのが二日前、そんな子ども達を
見つけて保護するために適切な対応をとる施設で
もあるのです。

そのため、児童館条例の変更の際に際して、これまで
に指定管理者への移行が行われた施設での総合
的な検証が行われていないこと、移行後の継続的
な人的配置が保障されていないこと、保護者や住
民の方への十分な説明がなされていないこととい
うこと、そして400名以上の保護者の方や地域住民
が反対の陳情を出していることから、反対の意見
を表明しました。

最終的に、議案は賛成多数で可決されてしまいま
したが、議会で声を挙げたということ、それはこれ
から児童館が外部委託されるにあたって、その
手続きや運営状況について住民の方とともにしっ
かりと監視するというはつきりしたメッセージを
送ることができたと思っています。



議員ひかえ室



平和台児童館

初議会ということで内容もさることな
がら、作法も含めてすべてが勉強。最初に名
前を呼ばれ「議長、4番」と自分の番号を
述べ、議長に向かってお辞儀をした後に演
題に立つ、という流れなのですが、どのタイ
ミングで声を挙げたらいいのか、とか、どの
くらいお辞儀したらいいのかなど、一つひと
つが我ながらきこえない…。そして演台に
立つとタイマーが動き始めます。討論は何
としても5分という制限時間内に収めなく
てはいけません。
そしていざ話し始めると、違う意見の方か
らの野次や大きな独り言…。一つ一つが大
変ですが、そんな中で救いとなったのが傍
聴に来てくださった皆さんの応援でした。
二階席から身を乗り出して見守ってくれる
皆さんの顔を見ると、ふっと緊張が解けま
した。これからも全力で頑張ります！

初議会の感想をい・わ・せ・て！

練馬から、安保関連法案について訴える

6月29日、今回の議会で一番の山場となったのが、国会で審議されている安全保障関連法案に対して廃案を求める意見書案の提出でした。

現行憲法の解釈拡大によって集団的自衛権を認めようとする安保関連法案、地方議会ができる唯一、そして最大の意思表示が、地方議会からの反対意見書の提出です。

7月現在、325の地方議会が、今回の法案に対する反対、ないし慎重審議を求める意見書を提出しています。そんな中、ここ練馬区でも共産党、生活者ネット、市民の声ねりま、市民ふくしフォーラム、オンブズマン練馬からなる超党派の議員団(13名)が共同で意見書案を議会に提出しました。

現在の練馬区議会では50名の議員のうち30名を与党が占めており、本意見書も最終的には否決されてしまいました。しかし、議会ですっかりと審議できたことは非常に大きな一歩であり、また党派をこえて13名もの議員が連携できたことに大きな意味があったと思います。

賛成のために立ち上がった時、緊張とともに正しいことをしているという思いに身がひきしまりました。今回は残念なことになりましたが、大切なのはこれからです。地域の中から、政党をこえて共同で声を上げ続けたいと思います！



A DREAM YOU DREAM ALONE IS ONLY A DREAM
A DREAM YOU DREAM TOGETHER IS REALITY.



こらむ

「だって、私、オムツ替えたり、離乳食つくったりで忙しいし。」
ずっとこう言いながら、新聞もろくに読めない日々が続いてきました。でも、70年前の戦争が始まる前も、みんな、日常に追いまわられて、自分のことで精いっぱい、考える暇もなく、気づいたら取り返しつかないことになってたんだらうな。



社会科で習った歴史を思い出したって、権力は、誰がとったって、一緒だと思っ、嘘をつきがちで・暴走しがち。その歯止めのために憲法がつけられたんでしょ。今回の安保関連法案がとあることで、なし崩し的にその歯止めまで崩れるかも。「子どもを戦争に送りたくない」というと、なんて大げさな、と思うママ友も多いでしょう。「重い」または「偏ってる」と思う人もいるかも。でも、「自分は中立だから」と言ってみながら、実は流されているだけのことも、よくあるよね・・・。

将来、「心配しすぎ」だったことがわかったなら、それに越したことはない。

でももし私たちが、歴史的な分岐点にいるんだとしたら。

自分がやっても何も変わらない、と私も思ってた。でも、少なくとも、私は加担したくない。子どもや孫に、あの時、ママ(ばあば)はどうしてたの?と問われたら、「力いっぱい反対した」と胸を張って言いたい。

だからあえて言います。
私は反対。

(大泉学園在住のママより)